



がっこう 学校だより

がっこう
5月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がつ にち
令和4年4月28日
よこはま しりつかみい だしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

かぞく どく GWは家族で「〇読」

こうちよう よこやまよしあき
校長 横山 美明

がつ にち こ どくしょ ひ こ どくしょ ひ こ どくしょかつどう かんしん
4月23日は「子ども読書の日」でした。「子ども読書の日」は子どもの読書活動についての関心と
りかい こ せっきよくてき どくしょかつどう おこな いよく たか ねん さだ
理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために2001年に定められました。
ほんこう まいねんおこな がっこうひょうか ほん よ す しつもん やく わり
本校で毎年行っている学校評価アンケートでは、「本を読むのは好きですか。」という質問に約8割
こ す かいとう たい ほごしゃむ かにてい こ どくしょ した すがた み
の子が「好き」と回答しているのに対し、保護者向けの「ご家庭ではお子さんが読書に親しむ姿が見
られますか。」という質問には「満足している・おおむね満足している」という割合が5割程度となっ
ています。これまでも家族でコミュニケーションを深めるための家庭読書（家読）について呼び掛けて
きていますが、家では他に興味があることも多くなかなか読書に気持ちが向かないようです。

「〇読」という熟語を調べてみると、声に出して読む「音読」「朗読」、声に出さずに読む「黙
どく なんにん だだ よ ぐんどく ないよう よ いちどく りやくどく つうどく
読」、何人かで声に出して読む「群読」、内容をさっと読む「一読」「略読」「通読」、じっくりと
よ じゆくどく がんどく せいどく みどく ほん よ たどく らんどく ぎつどく どくてい ほん
読む「熟読」「玩読」「精読」「味読」、たくさんの本を読む「多読」「乱読」「雑読」、特定の本
この よ あいどく さつ ほん よ ないよう はな あ かいどく かいどく りん
を好んで読む「愛読」、1冊の本をみんなで読んだり内容を話し合ったりする「回読」「会読」「輪
どく ほん よ かつ ひょうげん しら おもしろ
読」など、本の読み方についてもいろいろな表現があり、調べてみると面白いです。

ぜんにんこう としよ かつ うちどく すいしん くふう だ
前任校で図書ボランティアの方に、家読を推進するための工夫についてアイデアを出していただいた
ところ、「家族で同じ本を読んでその感想を話し合う」という工夫や「子どもに読んでほしいと思う本
を2週間ごとに図書館で借りてきてリビングの手に取りやすいところに陳列しておく」など環境面
の工夫もありました。わが家でも子どもが小中学生の頃には親子で同じ本を読んで登場人物や本の
ないよう だ あ ほん えいが えいぞうか
内容についてのクイズを出し合ったり、その本を映画やテレビなどで映像化するとしたらどんなキャス
ティングをするかなどについて話したりしました。子どもが本を好きになるには、身近な大人（家族）
が読書に親しんでいる姿を見ることが一番大切だと思います。

ひと よ ほん ぶん たか ことば のうかがくしゃ もぎけんいちろう ほん か
「人は読んだ本の分だけ、高くなれる」この言葉は、脳科学者の茂木健一郎さんの本に書かれている
ことば よ ほん ぶん じぶん せかい ひろ とお おち
言葉です。読んだ本の分だけ自分の世界が広がるということで、まさにその通りだと思います。

こんしゅうまつ はい しんがた かんせん しんばい なか りよこう こうらく しんばい
今週末からはGWに入ります。まだまだ新型コロナの感染も心配される中、旅行や行楽には心配
てん おち じっさい りよこう い ほん なか せかいじゅう
な点もあるかと思えます。実際に旅行に行かれなくても本の中では世界中のどこにでもそれどころか
うちゅう か こ みらい だれ い くらう せかい い
宇宙や過去・未来、さらにはまだ誰も行ったことのない空想の世界にも行くことができます。ぜひ、
おやこ うちどく たの どく けいかく た
親子で「家読」を楽しむための「〇読」の計画を立ててみてはいかがでしょうか。